

エス・ディー・ジーズ

SDGs講座 Sustainable Development Goals



No.7

SDGs 17のゴール



原信・ナルス×SDGs ～新潟から未来へ、つなぐ～ ⑥

「第1回新潟SDGsアワード」(地域創生プラットフォーム「SDGsにいがた」準備会主催)にて大賞を受賞されました株式会社原信様・株式会社ナルス様の取組についてご紹介します。両社は力を入れている食品ロス削減や地域貢献、人材育成などの活動をSDGsの17のゴール全てに関連付け、取組を進めています。

ゴール11 住み続けられるまちづくりを

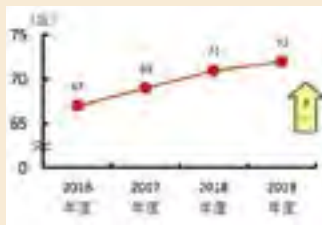
よりお買い物しやすいお店に

原信・ナルスが目指す姿

地域の食生活を担う企業として、女性、子ども、高齢者、障がい者などすべての人々が快適にお買い物でき、日々の生活に豊かさ、楽しさ、便利さを提供できるスーパーマーケットを目指している。

原信・ナルスの取組

1998年より「バリアフリー法」に基づき、店舗のバリアフリー化を進めており、今では9割以上の店舗がバリアフリー店舗となっている。



バリアフリー店舗数

駐車場では、隣の車と十分な距離が取れるよう1台あたりのスペースを広く取っている。店内では、売場の通路は広くし、段差をなくし、カートや車イスでも移動しやすいように工夫している。



介助が必要な方のインターフォン

また、思いやり駐車場の整備、貸し出し用車イスの設置、介助が必要な時のインターフォンの設置、授乳室の設置など、快適にお買い物ができる店づくりを進めている。

ゴール12 つくる責任 つかう責任

食品ロスを減らす

原信・ナルスが目指す姿

業界の慣習の見直しやデータや技術を活用することで、フードサプライチェーン全体の食品ロス削減を目指している。

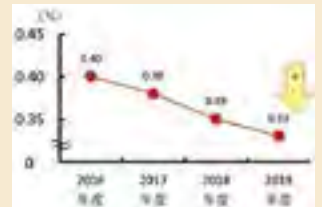
原信・ナルスの取組

店舗では、食品ロス率(売上高あたりの廃棄金額)を削減するため、製造数と販売数をグラフで把握し、必要な時間帯に必要な商品を陳列できるよう取り組んでいる。



予約でのロス削減

催事では、確実にご購入いただけるお客様を増やすため、予約特典の強化、さらに、商品数量の過不足を把握し商品を店間移動させることで、食品ロスを減らしている。



食品ロス率(売上高あたりの廃棄金額)

また、一部商品では仕入基準の緩和を行い、流通段階での廃棄削減にも取り組んでいる。取組の結果、食品ロス率は年々減少し続けている。

(協力：地域創生プラットフォームSDGsにいがた、原信ナルスオペレーションサービス株式会社)

2ドア軽自動車地域最安値

24時間 **2,200円** 24時間

1週間 **8,580円** 1ヶ月 **27,280円**

メンテナンス不要・保険付き・税込

買うより借りる **ガッツ** ですよ!

ガッツレンタカー 新潟駅前店

TEL: 025-256-8520 FAX: 025-256-8325
新潟市中央区明石 1-2-10 コーポ明石1F
https://guts-rentacar.com/

『認定支援機関』として新潟の企業を応援します!

詳しくはこちらへ → <https://www.ogawakaikei.co.jp/>
(本店) 新潟市東区豊2-6-52 TEL 025-271-2212

税理士法人 小川会計	株式会社 小川会計 コンサルティング	社会保険労務士法人 KBS
●法人税務～相続まで総合支援 ●事業承継とコロナ対策支援	●経営計画策定・モニタリング支援 ●認定支援機関補助金申請	●人事・労務相談 ●就業規則・助成金申請

会社の福利厚生を応援します

新潟市が出資している法人です。
従業員1人当たり月800円で、充実した福利厚生を実現!

会員募集中!

主な事業：慶弔給付、健康維持増進、自己啓発援助、余暇活動援助ほか

詳しいサービス内容はインターネットで
愛称 **ニピイ**

公益財団法人
新潟市労働者福祉サービスセンター
新潟市中央区西堀通6-878-1 西堀7番館ビル3F
電話 (025) 201-6113 <http://www.nipy.jp/>

スマホの まめ知識



このコーナーでは、最終的にスマホを使って、補助金申請やワクチン接種の予約ができるレベルを目指し、今後展開していきます。

～中級編④～

カメラの使い方を教えて！ iPhoneとAndroidでの違いは？

今回は、カメラの使い方をとiPhoneとAndroidを使って説明します。Androidはメーカーや機種によって方法が異なるので、一般的な方法をご紹介します。

スマホの便利な機能の1つとしてカメラがありますが、特に近年、スマホのカメラ機能は大幅に向上しています。ここでは基本的な使用方法と保存場所について説明します。

【iPhoneの場合】

ホーム画面上の「カメラ」アプリを開くと、画面下部に写真、ビデオ、パノラマなどの撮影モードが表示されるので撮影したいモードをタップするか、画面を左右にスワイプすることでモードを切り替えることができます。どの撮影モードでも、一番下に表示される撮影ボタンをタップすることで撮影できます。オートフォーカスされた部分に黄色い枠が表示されますが、別の場所をフォーカスする場合は任意の場所をタップします。また、画面をピンチアウトすることでズームイン、ピンチインすることでズームアウトできます。ピンチアウト、ピンチインについては、当所の会報5月号で既にご紹介しています。iPhoneを横向きにして写真を撮りたいときには、音量ボタンを押すことで、通常のカメラのようにシャッターを切ることができます。撮影した写真、動画などは「写真」アプリに自動的に保存されます。

【Androidの場合】

ホーム画面上の「カメラ」アプリを開くと、画面下部にカメラとビデオのアイコンが表示されるので、撮影したい方のアイコンをタップすることで撮影することができます。写真の場合はカメラのアイコンを、動画の場合はビデオのアイコンをタップすることで撮影することができます。オートフォーカスされた部分に青い枠が表示されますが、別の場所をフォーカスする場合は任意の場所をタップします。また、iPhone同様、画面をピンチアウトすることでズームイン、ピンチインすることでズームアウトできます。撮影した写真やビデオなどはギャラリー、フォト、アルバムなど(メーカーや機種によって、アプリの名称は異なります)の名前のアプリに自動的に保存されます。



※ iPhone8シリーズまでの機種では、撮影画面が異なります

(協力：ソフトバンク株式会社)